

科目名	英語B English B						
科目担当者	安井 誠 YASUI Makoto						
単位数	2	配当年次	1年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科 [区分]	法学部・法律学科 [総合教育科目 外国語] 経営学部・経営学科 [総合教育科目 外国語]					ディプロマポリシーとの関連	(1)(4)
授業の概要	<p>英語は今や、世界の共通語としてその地位を築き上げています。私たちが日々利用するインターネットも、全情報量の8割以上が英語であるとも言われています。また日本国内に目を向けても、社内の公用語を英語にしている企業も見られます。グローバル化の時代において、英語の重要性はますます高まっていくことでしょう。</p> <p>そこで本授業では、英語の基礎となる「文法・語法」および「リスニング」に特化した授業を行います。高等学校までの既習事項も数多く含まれますので、文法力・リスニング力をさらに伸ばし、大学での学修に必要な英語力を身につけていってほしいと思います。</p>						
授業の到達目標	<p>①英文法についての基本的な知識を身につけ、状況に応じて正しく使うことができるようになる。</p> <p>②平易な英文を聴き、状況に応じて正しい判断をすることができるようになる。</p>						
授業計画・内容	1	授業オリエンテーション、助動詞（基本用法の説明：モダリティなど）					
	2	助動詞（演習問題）					
	3	疑問詞（基本用法の説明：Wh要素の移動という考え方）					
	4	疑問詞（演習問題）					
	5	不定詞・動名詞（基本用法の説明：名詞、形容詞、副詞を中心に改めて品詞を考える）					
	6	不定詞・動名詞（演習問題）					
	7	未来形（基本用法の説明：will、be going to、現在進行形による未来形の使い分け）					
	8	未来形（演習問題）					
	9	接続詞（基本用法の説明：順接、逆接、等位接続の概念について）					
	10	接続詞（演習問題）					
	11	現在完了形（基本用法の説明：基本用法と過去形との違い）					
	12	現在完了形（演習問題）					
	13	比較級・最上級（基本用法の説明：修飾(Modification)の一種として捉える原級・比較級・最上級）					
	14	比較級・最上級（演習問題）					
	15	後期のまとめと定期テストについて					
授業外学修 (事前学修)	毎回、与えられたプリント問題に取り組む（毎週2時間程度）。						
授業外学修 (事後学修)	次週の確認テストに向けて授業内容を復習する（毎週2時間程度）。						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法					評価比率	到達目標との対応
	講義内の試験 授業貢献度					60% 40%	①、② ①、②
成績評価基準	<p>秀：（評点90点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合</p> <p>優：（評点80点～89点）到達目標を高い水準で達成している場合</p> <p>良：（評点70点～79点）到達目標を一定の水準で達成している場合</p> <p>可：（評点60点～69点）到達目標を最低限の水準で達成している場合</p> <p>不可：（評点60点未満）到達目標に達していない場合</p>						
教科書	なし（プリントを配布します）						
参考文献							
その他							